

Multi-room (Group Play) 機能

マルチルーム(グループプレイ)は、DSD、MQA、HDFLAC、WAV などの音源でも自宅のどの部屋のカクテルオーディオでもワイヤレスでシームレスに再生することができる機能です。

Group Play 機能を使えば、同一ネットワーク上の複数のカクテルオーディオを使い同じ曲を複数台同期させて再生することができます。

※この機能には複数のカクテルオーディオが必要です。

※マルチルーム再生する場合クライアントデバイスのサンプルレートは 48kHz となります。

※マルチルームで再生できるサービスとできないサービスがあります。

-再生できる: MusicDB、ブラウザ(USB ストレージ、UPnP、NAS)、CD 再生、i-Radio、Tidal、Qobuz などのストリーミングサービス。

-再生できない: デジタル/アナログ入力、Bluetooth(Airplay)入力、FM ラジオ/ DAB +、Roon、SpotifyConnect

1. マルチルーム(グループプレイ)対応ファイル形式とサンプルレート

フォーマット	サンプルレート	無線 LAN	有線 LAN	備考
PCM(WAV, FLAC)	44.1kHz(48kHz)	OK	OK	
	88.2kHz(96kHz)			
	176.4kHz(192kHz)			
	352.8kHz(384kHz)			
	768kHz	NO	NO	対応していません
DSD	64	OK	OK	
	128			
	256			
	512	NO	NO	対応していません
MQA	44.1kHz(48kHz)	OK	OK	
	88.2kHz(96kHz)			
	176.4kHz(192kHz)			
	352.8kHz(384kHz)			

2. Group Play



Multi-room (Group Play)の設定は

最初にホーム画面から Group Play を選択し起動します。

3. デバイス名とホスト名

各ゾーンのデバイスを簡単に識別できるように、任意にデバイス名を付けます。

Group Play のデバイス名は Samba サーバーのホスト名とリンクしています。

デバイス名の変更は設定→ネットワークサービス→Samba サーバー→Host Name(ホストネーム)

からホスト名をわかりやすいように変更します(使用時に Group Play のホスト名として表示されます)



4. デバイスごとの基本設定

4-1. デバイスをサーバーデバイスとして設定するには



ホーム画面から Group Play を選択し Enabled に切り替えます。

この状態で音楽ファイルを再生すると再生したカクテルオーディオがサーバーデバイスになります。

また、サーバーデバイス以外のカクテルオーディオはクライアントデバイスとなり Auto Join の場合は自動的に再生を開始します。

4-2. Auto Join (自動参加)



Auto Join または Manual Join を切り替えることができます。

クライアントデバイスが自動参加に設定されている場合、サーバーデバイスが再生を開始すると自動的にグループプレイに接続されます。

4-3. Manual Join (手動参加)



クライアントデバイスで「手動参加」を設定するとデバイスを手動で追加する方式に変わります。

クライアントデバイスが手動参加に設定されている場合、サーバーデバイス起動後にクライアントデバイスを手動で追加します。

Group Play に手動で追加するには

- ① 再生中のサーバーデバイスを選択します。
- ② 「Join this Server」をクリックするとクライアントデバイスとして再生を開始します。

4-4. 再生画面

Group Play で曲を再生すると、下図のようにサーバーとクライアントの再生画面が表示されます。



5. MusicX NEO での設定

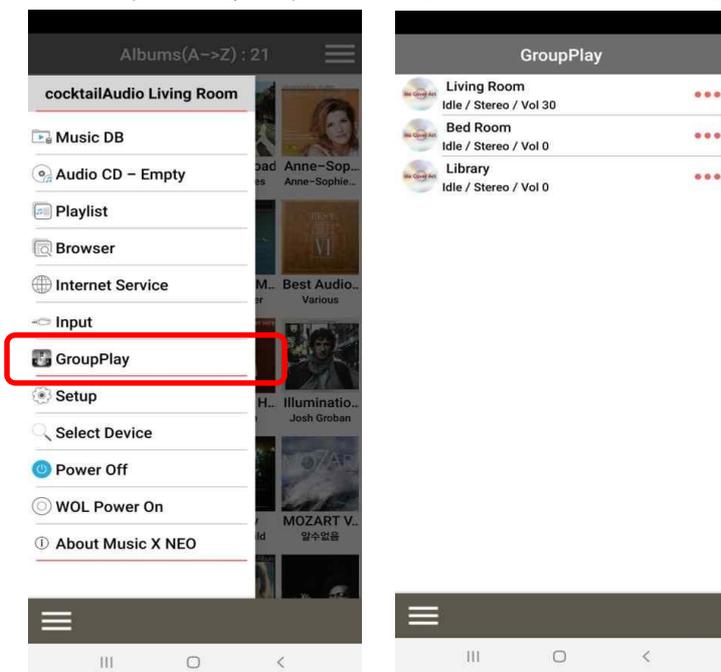
Group Play をより簡単、詳細に使用するために、MusicX NEO を使用することをお勧めします。

5-1. Group Play で利用できるデバイスを探すには

MusicX NEO の Group Play を選択すると利用可能なすべてのデバイスを確認できます。

例えば、下画面のようにリビングルーム、ベッドルーム、ライブラリの3台のカクテルオーディオにホスト名(デバイス名)を付けて説明します。3台のカクテルオーディオを以下のように設定します。

- Living Room : 'Group Play Enabled' として設定
- Bed Room : 'Group Play Enabled' そして 'Auto Join' として設定
- Library : 'Group Play Enabled' そして 'Manual Join' として設定



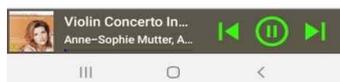
5-2. サーバーデバイスとして曲の再生を開始の設定をする

リビングルームのカクテルオーディオ(現在サーバーデバイスとして使用することにする)

で音楽を再生すると3つのデバイスは次のように機能します。

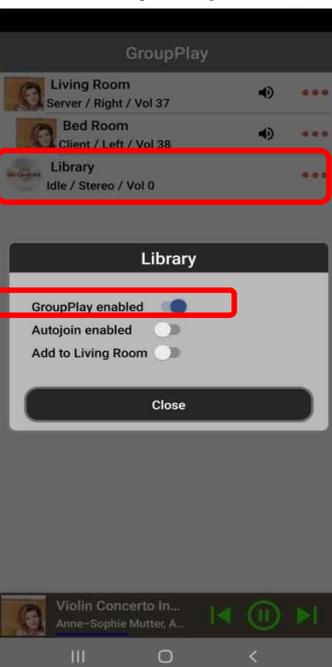


- Living Room : サーバーデバイスになります。
- Bed Room: このデバイスは「Auto Join」として設定しているため、クライアントデバイスになり、Group Play に自動的に参加し再生を開始します。
- Library : 「Manual Join」として設定されているため、まだ Idle(待機)状態で再生をしません。



5-3. Group Play にクライアントデバイスを手動で追加する

上記のデバイスリストの画面で、赤く囲った場所をタップします。

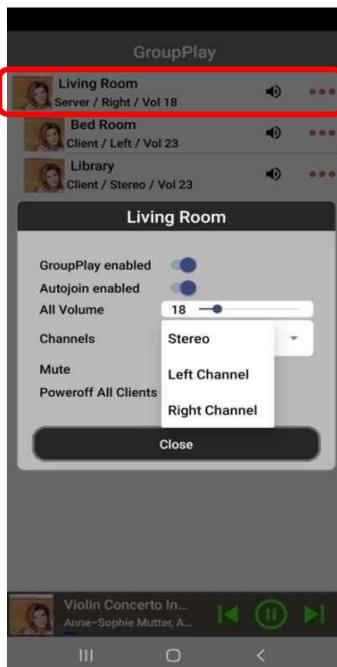


すると左図のような設定画面が表示されます。

'Add to Living Room'(Living Room に追加)を選択すると

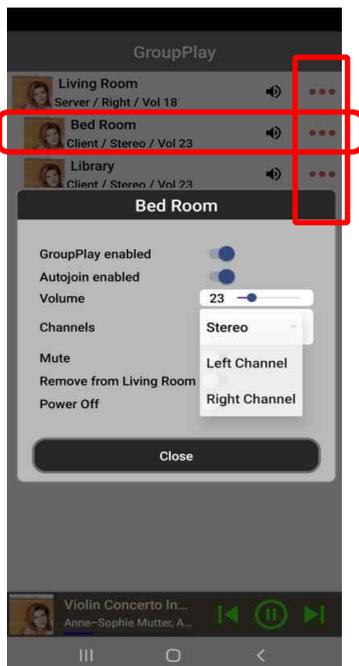
クライアントデバイスとして Group Play に参加することができます。

5-4. コントロール機能



サーバーデバイス(この場合 Living Room)

- ① 赤く囲った部分をタップするとコントロール機能が表示されます。
- ② サーバーデバイスをタップした場合、クライアントデバイスを含むすべてのデバイスの音量を同時に制御でき、サーバーデバイスのチャンネルをステレオ、左チャンネル、右チャンネルと設定できます。例えば左チャンネルに変更するとステレオのL側のみ同期再生します。



クライアントデバイス(この場合 Bed Room)

- ① 赤く四角囲った部分をタップするとコントロール機能が表示されます。
- ② クライアントデバイスをタップした場合はクライアントデバイスの音量を調節でき、ステレオ、左チャンネル、右チャンネルなど、クライアントデバイスのチャンネル設定できます。また、ミュート機能や、クライアントデバイスの電源を切ることもできます。
- ③ 赤く囲ったスピーカーアイコンをタップするとミュートにすることができます。